



第
78
号

発行日：2023年2月1日

発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

住所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津4階

電話：077(526)7545

フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>

Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



<事務局長から> 立春を迎え梅のつぼみも膨らみ始めました。第8波コロナ禍渦中、国政レベルでは感染症対策の緩和が進められていますが、一人ひとりが対策し如何に社会生活を進めるかが問われることとなります。一方、フォーラムでは今、2022年度事業、会計等の締めに向けて取り組むとともに、来年度の事業計画・活動予算に関する理事会を迎えます。皆様のご支援ご協力をお願いします。

会員数 120名 (2023年1月末現在)

トピックス

○ おおつ市民環境塾講座 7「エコ料理教室」を開催しました

12月3日、平野コミュニティセンターにておおつ市民環境塾「エコ料理教室」を開催しました。申込は20人で、定員は当初の12人をコロナ禍拡大により当選を9人に減らしました。さらに欠席があり参加は7人になりました。

はじめに、温暖化の現状や、その対策には家庭の省エネ、とくに調理関係の無駄排除が大事なこと、具体的には食材をとことん使う、ごみは濡らさない、水の使用量を減らすなどについて、会議室で講義です。また、畜肉に比して生産時の温室効果ガス排出量が少なく、バーチャルウォーター（農畜産物の生産に要する水の量）も少ない大豆ミートを今回の食材に使用していることなども解説。一通りの講義の後調理室へ移動し、4班に分かれて実習です。作るの、大豆ミート入り簡単デコレーション寿司、かぶらの葉とじゃこの和え物、豆腐のかぶら蒸し、ヨーグルトルットウ（フィンランドのパイ菓子）の4品です。時間のかかる炊飯や椎茸の味付けは事前に行ったので1時間余りで出来上がりました。そして再び会議室に戻って試食しました。食事時も家庭でできる省エネ策についての説明、最後の後片付けも、水を汚さず無駄遣いしない手順の実践と、エコ体験重視の料理教室でした。



○ おおつ市民環境塾講座 8「ゼロエネルギーハウス体験・見学会」を開催しました

12月10日、おおつ市民環境塾講座8「ゼロエネルギーハウス体験・見学会」を開催しました。コロナ禍深刻化のためかキャンセル者が続出し参加は10人でした。

まず、青山公民館にて住宅の断熱性・気密性の重要性などについてヤマト住建(株)滋賀店店長代理の森広樹氏のお話を伺いました。日本では、住宅の断熱・気密性は重視されてきませんでした。冷暖房エネルギーの削減や冬のヒートショック防止・夏の熱中症対策のため、欧米並みに改善すべきとされるようになりました。政府は、地球温暖化対策の観点から、家庭で必要なエネルギーを自給自足する住宅（ZEH; net Zero Energy House）の普及目標を掲げました。講義後、同じ大規模団地内にある同社のモデルハウスに移動し見学しました。押入れほどの空調室にあるエアコン1台で延床面積39坪の2階建全館を空調していました。ファンで各部屋に送風され、吹き抜けの居間はもとより廊下や玄関も空調が行き届いています。三重ガラスの樹脂サッシ窓や外断熱壁で熱の出入りを防いでエネルギー消費を削減し、必要なエネルギーは太陽光発電で自給しています。家中寒いところがなくエネルギー代も節約できる、これからの「モデル」となる家でした。



全館冷暖房用エアコン 各部屋への送風ファン 制御スイッチ 部屋の送風口

○ 「地球温暖化 Now！」を開催しました

12月24日、明日都浜大津ふれあいプラザに東京大学未来ビジョン研究センター教授で環境省中央環境審議会会長の高村ゆかり氏をお招きして、気候変動に関する動向と脱炭素に向けた課題と対応について学ぶ「地球温暖化 Now！」を開催し、会場で16人、オンラインで13人が参加されました。



前半では、近年襲来し大きな災害をもたらした台風の例を挙げ、人為的なCO₂排出が異常気象の水準・頻度

を押し上げており、世界が協力して排出削減策をとり 2050 年までにカーボンニュートラルを実現させることが不可欠と説かれました。特に、2030 年の削減目標の達成が決定的に重要です。後半では、脱炭素化に向けた政府や企業の動きが紹介されました。国レベルでは、温対法、省エネ法などが改正され目標が設定されました。自治体レベルでは、滋賀県や大津市など 800 以上の自治体が 2050 年までに CO₂ 排出実質ゼロを宣言し、米原市や湖南市は「脱炭素先行地域」の取り組みを始めています。金融・投資家は投資先企業の気候変動対策を重視するようになり、企業にとって脱炭素化は企業経営の重点課題になり、具体的な行動として表れてきています。

プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《ビオトーププロジェクト》

1 月 15 日、春日山ビオトープで池の中に伸びてきているヒメガマとショウブの地下茎を取り除く作業をしました。2 時間半の苦闘の結果、なんとか池の水面を取り戻すことができました。作業中に 30cm を超える長さのハリガネムシを捕獲しました。



《里山保全プロジェクト》

1 月 16 日、春日山公園で昨年 11 月中～下旬にかけて棚田で採種したササユリの種を、バーミキュライトと混ぜて保存用ポリバックに詰めました。水分量の多寡の 2 種類を作りました。袋蒔き移植する採種一年後の今年の秋には、ヒゲ根を付けた小さな球根が見られることでしょう。



《エネルギープロジェクト》

1 月 10 日、市民活動センターに元 J-POWER 広報専任部長の藤木勇光氏をお招きして、再エネと電力需給調整をテーマに勉強会を行い 7 人が参加しました。

「家庭の省エネ・節電アドバイス講座」参加者募集

- 日時 3 月 4 日(土)14:00~16:00 参加費無料
- 会場 明日都浜大津ふれあいプラザ大会議室
- 内容 ガソリン代、ガス代に加え電気代も大幅値上げされ、家計を圧迫しています。政府も支援を考えてくれているようですが、家庭での工夫で節約できる余地が多くあります。どのような方法があるか考えてみましょう。
- 申込 info@otsu.ondanka.net ☎077-526-7545

おおつ環境フォーラム年会費の納入について

2023 年度会費(個人正会員の場合 2,000 円)は、下記①②のいずれかの方法により納入をお願いします。

①直接事務局に持参する
②指定金融機関に振り込む
滋賀銀行本店営業部 店番 110 普通預金 503208
(振込み手数料は納入者のご負担ください)

過年度会費が未納の方は、必ず 3 月末日までに納入ください。未納が続くと退会扱いとなります。

発電量が不安定な太陽光・風力発電の比率が増えたとき電力会社はどのようにして需給バランスをとるのかなどについて学びました。



■これからのフォーラム活動

※COVID-19 の感染状況等により変更になることがあります。

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト		
生ごみリサイクル	2 月 17 日(金) 15:00	市民活動センター//生ごみ堆肥化資材EM ポカシつくり
ビオトープづくり	2 月 20 日(日) 9:00	北大路どろんここーぷ//補修整備
	3 月 12 日(日) 9:00	春日山ビオトープ//会議
里山保全	2 月 4 日(土) 10:00	春日山公園//例会
	2 月 13 日(月) 10:00	春日山公園//例会
	3 月 4 日(土) 10:00	春日山公園//例会
	3 月 13 日(月) 10:00	春日山公園//例会
エネルギー	2 月 7 日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	2 月 22 日(火) 10:00	コープしが ゆめふうせん//家庭の省エネ出前講座
	3 月 7 日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
理事会	3 月 10 日(金) 13:30	ふれあいプラザ//理事会
おおつ市民環境塾実行チーム	2 月 1 日(水) 10:00	大津市センター//会議
おおつエコフェスタ実行チーム	2 月 3 日(金) 15:00	大津市センター//会議
里湖づくり事業実行チーム	2 月 8 日(水) 15:00	琵琶湖環境科学研究センター//里湖づくり協議会
	2 月 17 日(金) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター・湖岸//湖底耕耘
	3 月 3 日(金) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター・湖岸//湖底耕耘

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津 4F）